

Mランドニュース Vol.154

丹波ささ山校 令和2年1月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

苦しければ苦しいほど 「基本に帰る」

小河 二郎前会長

平成21年1月10日弊社講話より

謹賀新年

代表取締役会長

小河 吉彦



明けましておめでとうござい
ます。

平素は格別のご高配を賜り、
心よりお礼申し上げます。

昨年はお礼申し上げました。創
業の思いや理念について、ゲスト
やスタッフに伝えてまいりまし
た。今年はそれを「カタチ」にし
ていく年にしなければならな
いと考えております。

弊社の理念に、「Mランドはマ
インドデザインスクール」とあり
ます。

創業者 小河二郎は、ゲスト
の一生無事故を願う、そのため
には本来持っている「愛の心」を
育んでいく必要があると説いて
きました。すなわちMランドは
「愛の心」を基に成長してきた
のです。

今後、「人工知能」がますます
す進化する時代において、人間
にしか持つことができない「心」
という領域が大切になってくる
と言われ、Mランドの存在価値
も高まる時代と考えます。

しかしながら、少子化や自
動運転など、自動車教習所業
界を取り巻く状況は厳しいこ
とに変わりありません。だから
こそ原点を大切に、新しい「カ
タチ」を作る挑戦を全力でして
いきたいと思うのです。

新しい一年のスタートに、M
ランドの存在定義を「幸せ創造
業」、そして「愛の心で世界中の
人々を幸せにする」という壮大
なロマンを持ち、百年企業を目
指します。

その中で大切にしたいMラン
ドのスピリッツは、会津八一氏
のことは「美しくなりたく候」
で、「美しさを求め続けた先に
ある美しさ」を、とことん考え
求め続ける気持ちから、この言
葉を選びました。

- 具体的には、「あいさつ」、「掃
除」、「譲る」をカタチとして、
- ・名前を呼んで笑顔であいさつ
 - ・相手の心に届く言葉を意識
 - ・心のこもったアームハグ
 - ・教習車、机上を常に整理整頓
 - ・挑戦とあきらめない心
 - ・「お先にどうぞ」と譲る心

これら基本を大切に実践し
てまいります。

今年もMランドと関わりの
あるすべての皆様、ご指導ご鞭
撻賜りますよう、宜しくお願
い申し上げます。

サンタクロースのプレゼント

営業チーム 水越 健二

六年前、但馬掃除に学ぶ会
が始められた、「クリスマスゴミ
拾い」。

昨年は九府県二十四か所で
実施され、約七百名の方が参
加されました。

丹波篠山市では、「みやざき
中央新聞」読書会の山下貴子
様、清水真有様が昨年より始
められ、「今年は一緒に」とお
声がけいただき、トライアスロン
チームブレイブ四名、Mランド
六名の十二名で十二月九日に

実施しました。

その名の通り「クリスマス」と
あって、その姿はサンタクロース。
足らずは持ち合わせの着ぐ
るみです。

篠山城からMランドまでの
約二キロを、四つのルートでゴミ
拾い。すると通りかかる人々は
目を丸くしてご覧になり、与
えるインパクトは絶大でした。
約一時間の「ゴミ拾い」でした
が「美しい街に」と、サンタクロ
スからのプレゼントでした。



「今年は皆さま、一緒に！」



ゴミを分別するサンタさん



篠山はトナカイならぬ「いのしし？」



私とMランド

変チーム 岸 恒三郎



地元の神戸から、Mランド丹
波ささ山校に入社して十三年
が経ちました。

この間、貴重な体験を数多
くさせていただき、たくさん
ことを得てきましたが、その中
でも一番大きかったことは、苦
しいときや悩んだときに、必ず
支えてくれる、同僚というかけ
がえのない一生の「仲間」に巡り
会えたことです。

年号も「令和」となる年に、
私は大きな決断をしました。

それは、これまでのアパート
暮らしから、丹波篠山で一
生を暮らす家を建てるよう決意
したことです。

大好きな丹波篠山。一生を
共にする「仲間」、「家族」とこ
に定着し、自分なりの恩返し
ができればと思います。

丹波篠山にお越しの際には、
是非お立ち寄りください。

丹波篠山の未来を

共育チーム 南勝 宏幸

十二月一七日(火)、兵庫県立東雲高等学校において、一・二年生を対象とした、進路ガイダンスが開催されました。

市内企業十二社が出席の中、Mランド丹波さき山校も参加させていただきました。

校長先生をはじめ、どの企業も丹波篠山を愛されており、生徒さんには地元で就職し、これからの丹波篠山を盛り上げてもらいたい思いは同じです。



フレッシュな感性の皆さんでした

また、実際に教習車もご覧いただき、補助ブレーキの役割も熱心に聞いておられました。この地で百年企業を目指すためには、若い力は必ず必要に

なります。丹波篠山をもっと元気にするMランドを目指して、ともに顔晴りましょう。

心も磨く

愛チーム 前川 昂希

十二月も、朝のボランティア活動で、気持ちのよい朝を迎えていました。

そんな中、毎日参加されている滞在生の本城千名美様より、ボランティア活動を通じてご自身が気付かれたことを、レポートしていただきましたのでご紹介します。

私が初めにこの活動に参加しようと思ったきっかけは、紛れもなく「ポイントのため」だったと思う。

ポイントでお買い物できるし、洗濯用のコインも貰えるし、温泉も行けるとか。「これはやらない手はない」と思った。

実際に私は五千円ほどお土産やアクセサリーなどを買って、ポイントで精算した。

つまり、実質タダです☆ほぼ毎日やっているのと、本当に有り余ってくる(笑)

しかし、ポイントよりも私が

興味を持ったのは、インストラクターさんとの絡みである。

この活動をして、毎日朝からインストラクターさんたちが交代で所内・近隣・車を清掃していることを知った。「田舎にしてはきれいな設備だなあ」と思えた傍らには、彼らの努力や真心があつたんだなうわかった。

「寒い、寒い」と言いながらも、しっかり取り組んでいる姿をみて、「かっこいいなあ」、「私も頑張ろう」と思った。

また、教習でお会いしたり、しゃべったことのないインストラクターさんとお話ができたり、教習中は厳しくて、「ほんまこの人とは合わん」と思った人たちが朝の活動では一変、いい加減な側面やちょっと抜けているところが見られたり、皆さんとてもフレンドリーで、たくさんたわいもない会話(私生活や世間話)ができ、本当に本当に楽しかった。



集中してタイル磨きをされている本城さん
失礼してワンカット。「カシャ！」

それに、自分の不安とかも相談でき、気が楽になったし、続けていたら「会ったことあるっけ？」という人からも名前前で呼ばれたり、これは朝の活動の特権だと思った。

また、身体的にもよいトレーニングだった。朝起きること自体が生活習慣を整えることに繋がると、掃除機や箒なんかは腕と足腰を使うので、そこを意識すると筋トレにもなる。

Mランド特有だと思うけど、「タイル磨き」は本当に腕が痛くなる。でも、磨いて傷が消えていくのを見ると感動するし、削りカスがたまっていると、めっちゃ頑張った感じがするから、もっとやろうって癖になる(笑) 私は今二段階に入っており、路上運転は気を遣うし、勉強は難しくても頭もいっぱい使う。そんな時、朝に活動するとおしゃべりが楽しいし、朝は寒いけどさっぱりするし、掃除が

終わった後を見るとやっぱり気持ちがいい。いい気分転換になって、「今日も一日頑張ろう」と思えるので、これからもできるときはやりたいと思う。

朝のボランティア活動は本当に楽しい♪人見知りでも、ひとりがしゃべってくれるから面白いし、絶対おススメ！一回はやったほうがお得です。

地域見守り隊

十二月二十日(金)、篠山警察署との、「安心なまちづくりのための見守り活動等に関する協定書」の締結式が行われました。



井階社長(左)と森江署長(右)

毎日見慣れた市内を走行する教習車ですので、異変に対しては気付きやすいものです。警察署長の森江満様からは、「防犯の協力だけでなく、交通

事故防止のため、教習車が地域の模範運転となるよう、引き続きお願いいたします」と、弊社に対するご期待のことばもいただきました。

「社会に役立つ企業」として、あらゆる面でお役に立てればと思います。

『掃除に学ぶ会』のご案内

冬季期間(1月~3月)は凍結防止などの事情のため、学校での掃除に学ぶ会は実施しません。なお、「Mランド掃除に学ぶ会」は毎日実施しておりますので、是非ご参加ください。

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

編集後記

年が明け、新しい年を迎えることができましたが、震災や災害など各地で発生した大きな被害により、今なお多くの人々が不自由な生活を余儀なくされ、「あたり前」ということが、なにより幸せであるかを気付かされます。そのような中、この一年どのような生き方をするのかが問われます。「人生二度なし」(徹)